

# キヌガサソウ

*Kinugasa japonica* (Franch. et Sav.) Tatew. et C.Sutô  
シュロソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

産地、生育環境が極めて限定されている。1975年以降採集記録がない。花が美しいため、園芸採取の危険がある。

## 分 布

本州に分布。県内では奥越でのみ採集されている。

## 種の特徴

亜高山帯の林床に生える多年生草本。茎は高さ30～80cm。葉は長さ20～30cm、8～10個が輪生する。花期は6～8月。茎頂に直径約6cmの花を付ける。花被片は7～9個、黄白色～桃色～淡緑色に変化する。果実は球形、暗紫色に熟す。

## 生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取、自然遷移。

参考文献 佐竹義輔ほか（1982a）、福井県植物研究会（1998）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# クルマバツクバネソウ

*Paris verticillata* M.Bieb.  
シュロソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

元々極めて稀少な植物であり、生育地も限られている。1989年以降採集されていない。

## 分 布

北海道～九州に分布する。県内では奥越の深山でのみ見られる。

## 種の特徴

山地の林内に生える多年生草本。高さ20～40cm。葉は6～8輪生し、長楕円形、長さ7～15cm、幅1.5～5cm。花期は6～7月。茎の先に5～10cmの花柄を伸ばし、黄緑色の花を付ける。外花被片は4個、緑色で披針形、長さ3～4cm。内花被片は4個、糸状。

## 生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取。

参考文献 清水建美ほか（2014）、佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
																○	

# ホンバシュロソウ

*Veratrum maackii* Regel var. *maackii*  
シュロソウ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅰ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

## 選定理由

県内では嶺北と嶺南にそれぞれ2か所ずつ採集記録がある。生育地が限られ、個体数が少ない。

## 分 布

本州（中部地方以西）～九州に分布。県内では嶺南東側、丹南に分布する。

## 種の特徴

林内や湿った草原に生える多年生草本。高さ40～80cm。葉は根生し、細く、長さ20～40cm、幅1～2cm。花期は6～8月。茎の先にまばらな円錐花序を付ける。花は直径約1.5cm、暗褐色、花柄は長さ1～2cm。花色の変異が大きい。蒴果は長さ約2cm。別名ナガバシュロソウ。

## 生育を脅かす要因

産地局限、園芸採取。

参考文献 門田裕一ほか（2013）、佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○	○										